



北東北大学野球V 八戸市長に報告

八学大「全日本」健闘誓う

北東北大学野球春季リーグ1部で2季連続17度目の優勝を果たし、北東北代表として全日本大学野球選手権(6月10日開幕・神宮球場、東京ドーム)に5年ぶりに出場する八戸学院大硬式野球部の新沼館(しんぬまたく)貴志監督や選手らが23日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に優勝を報告するとともに、全日本選手権での健闘を誓った。

八学大は、5日の青森中央学院大戦に11-2の七回コールドで勝ち、優勝を決めた。開幕から8連勝で臨んだ11、12日の富士大(岩手)との2連戦こそ敗れたものの、リーグ戦を8勝2敗で終え

熊谷市長(前列中央)に全日本選手権での健闘を誓った八学大硬式野球部の新沼館監督(同左から2人目)ら11日、八戸市庁

た。

23日は、新沼館監督のほか、佐藤裕次ヘッドコーチや小林日出(ひづる)主将ら計7人が訪問。新沼館監督は「粘り強さがチームの持ち味。選手たちを東京で暴れさせた」「小林主将は「八戸のプライドを持って戦う」と意気込みを語った。熊谷市長は「これまでの最高成績のベスト4以上を目指し、活躍してほしい」と激励した。

今回出場する全日本選手権は、今年1月に同部OBの新沼館監督が就任して以降、初めての大舞台となる。初戦は大会第3日の6月12日、神宮球場での第2試合(午前11時半開始予定)で、天理大(阪神連盟)―北海道連盟代表の勝者と対戦する。

(棟方好華)